

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

令和3年4月1日改正版

評価細目の第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の理念を基に、運営方針、教育・保育目標、教育・保育方針が確立されている。パンフレット・ホームページ・園で取り扱う文書等に記載し、玄関ホールの目に付き易い場所に掲示しており、広く周知を図っている。保護者には重要事項説明書と説明会や行事参加の機会に園長が法人理念、園の教育・保育目標と方針を丁寧に説明し、業務支援ツール ICT を活用した保育実践の配信で、保育目標と方針の理解につなげている。職員は、専用のパソコンやタブレットで確認でき、職員会議や内部研修の場で保育目標と方針に基本にした保育の姿勢の認識を深め、保育実践に反映するよう努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業全体の動向は、全国保育協議会ホームページや保育情報誌の閲覧と、園長が県保育研究協議会研修会に参加し情報収集している。地域的な現状把握は行政や関係機関、企業、町内外の団体等との連携により情報を集積している。毎月、法人全体の収支報告会で事業運営の進捗状況を報告し、法人の顧問税理士の分析に基づいた財務報告及び指導を享受し、必要に応じて予算を見直し迅速に対処している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の収支報告会での財務報告や課題をデータ化し、具体的な取り組みにつなげている。助成金や補助金を有効に活用し職員配置基準以上に職員を投入し、ノンコンタクトタイム導入やチーム担当制で労働環境を整備し就業継続を促進している。また、保育の ICT 活用による業務改善と紙ベースの配布物を減らし経費削減に取組み、無駄を省いた安定した経営に努めている。</p>		

改善できる点／改善方法：

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の中長期財政計画と共に、社会状況や保育事業の政策を踏まえた中長期財政計画を作成し、目的と考えを示すと共に理念や運営方針等に沿った長期と中期計画それぞれに課題を挙げ、事業運営の具体的な取組を明記している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>実践中の事業の取組も含め、中長期計画に挙げている事業を具体的な数値目標や具体的な内容が経年で考察できる計画策定とその可視化への検討に期待したい。 (訪問調査後、直ちに計画の可視化に取組み、評価をbからaとした。)</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中長期計画を踏まえ、期首に毎月目標と収益、人件費を数値化している。上期下期に実施状況を評価し次につなげている。単年度事業計画として、対象者別と行事別に年間行事計画予定を挙げ、職員の園内外研修の受講計画を策定している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>理念や基本方針の具現化を目指したものが中長期計画であり、その計画を踏まえての単年度計画が必要であり、一貫した流れに沿った計画策定とその可視化への検討に期待したい。 (上記項目同様、訪問調査後、直ちに計画の可視化に取組み、評価をbからaとした。)</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の事業計画策定は毎月のリーダー会議や職員会議で協議している。職員相互の相談や発言がしやすい職場環境にあり、日常の気づきからの提案や財務計画に伴う協議などに職員が積極的に参画している。事業計画は年度始めに全職員に文書で配布し、園長が説明を加えながら周知している。実施後は職員間での振り返りに加え、保護者アンケートの評価も参考にしながら次期事業所計画を策定している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>多面的な評価や課題の集約を文書化して明確な計画見直し、実施の流れの恒常化に期待したい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ICT を活用し、保護者に向け園だよりやクラス通信等を配信し、年間行事予定や月次行事予定で活動内容等が確認できるようにしている。保護者へ周知する時には活動の主旨と教育的観点からの解説も記載し、保護者参加行事で園長が口頭説明し理解につなげている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育ドキュメンテーションのデータ化、チーム担当制導入による保育の均等化、絵本を遊びにつなぐ保育など「保育の質の向上」に向けた取組を進めるにあたり、学年別・分野別に職員を配置して担当職務を明確にするとともに、職員間の協議を習慣化してより深い子どもの理解や保育環境の確保に努めている。園長の個々の職員の専門性とキャリアに応じたサポートや ICT アプリ内研修の自由な受講を実現した業務改革は、保育士の資質向上につながっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>第三者評価受審は今回が初めてであり、定期的な受審の継続に期待したい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の質の向上に向けた業務改善の取組に外部講師を招いての園内研修を取り入れ、共同研究へと発展させている。共同研究は実践への学術的な裏付けを持った評価となり、新たな課題を見出す機会になっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員職務分担に園長の職務内容を明記し、法人組織での園長の立ち位置とその職責を明らかにしている。年度初頭の職員研修で職務職責を説明し、月次の各種会議や日常的な職員への声掛けで周</p>		

知を図っている。また、有事における園長以下の指示系統が確立しており、職員と共通認識を持ち行動している。職員職務分担、園組織図、マニュアル等各種文書はパソコンおよびタブレットからいつでも確認することができる。

改善できる点／改善方法：

11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：

年度初頭の研修で全職員が「人権」「接遇」「個人情報保護」「業務に関する法令」「虐待」について学び、コンプライアンスの意識定着を図っている。外部のコンプライアンス研修受講者が伝達講師となり職員間で共有している。コンプライアンス規定とそのマニュアル、外部研修受講報告書等はいつでも確認できる。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：

園長は保育運営の責務を果たす傍ら短期大学部非常勤講師の職務を担い、学術的な視点での裏付けを保育実践に活かしている。自らが外部研修受講や公開保育を重ね保育士としてのレベル向上を図る一方で、多分野で講師を務めるなど積極的に人材育成に関わっている。「絵本の好きな子どもを育てたい」「長く働き続けられる職場環境を作りたい」「地域で子どもを育てる」など保育の質に明確な目標を持ち、地域の社会資源との連携に努めている。職員には積極的に声掛けをし、いつでもどんな些細なことでも話し合える環境を作り、指導者として職員教育に尽力している。

改善できる点／改善方法：

13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：

保育体制強化事業補助金を活用し、職員増員及び事業推進、ICT導入により職場環境の改善を実現させている。園長自ら研究者としても関わりつつ、職員へ助言・指導し、保育の資質向上への意欲を引き出し安定した事業展開を図っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
--	---------

Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：
 国の基準を上回る職員配置に加えて業務の ICT 化で休憩時間やノンコンタクトタイムの安定確保、残業削減を実現させている。チーム担当制で業務量や役割の均等化を図り、業務内容の公平さを明確にし、オンライン研修受講で個々のスキルアップに役立っている。これらワーク・ライフ・バランスの充実とキャリアアップ制度が人材確保及び育成・定着に大きく寄与している。毎年人材確保の計画を立て、大学や専門学校との関係づくりや保育ジョブフェアへ参加し人材確保に努めている。

改善できる点／改善方法：

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
----	----------------------------	---

良い点／工夫されている点：
 常勤職員・非常勤職員・嘱託職員ごとの就業規定や職能給表運用、職能賃金、資格取得に関する基準が制定されており、職員に開示している。職員一人ひとりが年 2 回、目標設定を図り達成度を確認し、課題を明らかにして次のステップにつなげている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：
 給与体系・育児介護休暇・セクシャルハラスメント防止等の規定が整備され、年 2 回の年次リーダー及び園長の面談で本人の就業状況の意向や有休休暇消化率や時間外労働の就業状況を把握している。ICT 導入やチーム担当制による業務軽減は働きやすい職場環境につながり、職員から「家庭環境の変化に左右されず安定した長期就労が可能な職場」として期待されている。園は「県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント認定企業」である。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
----	-----------------------------------	---

良い点／工夫されている点：
 職員の自己評価（目標管理シート）を基に、年 2 回園長による個別面談を実施し、目標と課題について本人の意向を確認し個々の経験年数や習熟度に応じて必要なスキル取得を助言・指導している。次に目標達成度を評価し、進捗状況とフィードバックを行い、職員の自信と向上心につながる育成に取り組んでいる。

改善できる点／改善方法：

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：
 県保育研究協議会主催研修やキャリアアップ研修等の園外研修の参加、園内研修の年間研修計画を策定している。各分野リーダーが企画する内部研修や外部講師を招いての公開保育も実施してい

る。短期大学部教授らとの共同研究は、職員が研究サンプルとして関与するだけでなく内部研修で取り上げ、研究に通じた分析・評価・課題を共有し理解を深めている。園長が教室を巡回し、職員とコミュニケーションを図り研修の成果等を確認している。

改善できる点／改善方法：

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
----	-------------------------------------	---

良い点／工夫されている点：

職員個々の経験年数や習熟度を考慮し、キャリアアップ研修受講や園長が収集した園外研修への参加を促している。テーマ別や階層別など職員が自由に選択して受講できるオンライン研修を取り入れ、ノンコンタクトタイムや休憩時間などを利用して視聴できる環境を提供している。毎週実施する少人数での学年別職員会議は、協議を通じた個々の育成機会になっている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：

実習生指導マニュアルに基づき養成校の実習指導者と連携し実習を受け入れている。事前オリエンテーションで園の理念・基本方針、特長を伝えている。実習担当者は実習生受け入れの留意点や実習計画を全職員に説明し共有している。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
--	---------

Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
----	--------------------------------------	---

良い点／工夫されている点：

ホームページに法人概要や園の理念、基本方針、保育目標・内容を掲載し、運営姿勢を開示している。保護者向けの保育ドキュメンテーションを毎週配信し、印刷したものを玄関先に設置し来園者にも閲覧可能にしている。保護者に苦情解決制度の内容を周知し、寄せられた相談・苦情はマニュアルに基づいて対応し、公開の是非についてはプライバシー保護を考慮しつつ事案ごとに慎重に検討している。法人としての財務状況は、福祉情報サイト（ワムネット）の財務諸表電子開示システムを活用し、法人の現況報告書及び定款、法人の各事業所の財務資料を公開し、運営の透明性に努めている。

改善できる点／改善方法：

22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
----	--	---

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の顧問税理士による経営管理、組織運営、事業所に関する助言・指導等監査支援を受けている。法人でガバナンス強化に向けて各種規程等を制定し、園でも就業規定や職能資格基準、資格取得、苦情対応他の規定・規則を整備している。職員はいつでも閲覧できる環境にある。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画に地域の子育ての中核を担う取組を明記している。普段から子どもの散歩時は地域住民と挨拶を交わし、地域行事のフェスティバルやレクリエーション大会などに園から子ども達が参加している。近隣の田んぼで田植えや稲刈りを体験し、車販売業者による交通安全教室の実施など、地域の住民や企業の協力で実現し交流を広げている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ボランティアマニュアルを整備し、受け入れ時は担当職員がボランティアの内容や園児・保護者との接し方などを説明している。ボランティアや学生の保育体験を積極的に受け入れ、現場の楽しさを体感できる活動を提供している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>関係機関のリストは必要な時に直ぐ連絡ができるよう事務室に掲示してある。発達支援事業所の巡回相談員とは子どもの様子確認のための来園時に情報を共有している。消防訓練には消防車や救急車が園に出動したり、町や子ども相談所と虐待に関する連携体制が出来ている。幅広く関係機関や団体と連携を図り、地域の子育て支援に関わっている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	a

	る。	
<p>良い点／工夫されている点： 定期的開催される町や小学校の運営協議会、地域との交流、保護者懇談会等を通して地域福祉のニーズの把握に取り組んでいる。地域子育て支援事業の一環で隔月に未就園児親子に園庭を開放し、見学や保育体験も行いニーズ把握につなげている。民生委員や地域の見守り隊からの情報も地域ニーズを知る機会になっている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 子育て支援事業の案内を園ホームページに載せ、町の乳児検診やママサロンの会場に配布物を置き、未就園児保護者への情報提供に努めている。地域のニーズに応じて一時預かり保育を実施し、在園児の保護者には ICT を活用して配信している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 法人の基本方針に子どもを尊重した保育姿勢を明示し、職員は子どもの人権や主体性を尊重した保育を実践している。人権研修を受講した職員が、全職員に報告し子どもを尊重した保育の意識化を図っている。職員による虐待防止に向け、各教室に虐待予防チェック表を備え、職員が適宜自らの対応を確認し、園長や副園長が不適切ケアと感じた時にはその場で指導し、職員間でも注意喚起するなどの対応で保育に臨んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 年度初頭の職員会議でプライバシー保護について話し、職員の共通理解を深めている。着替えの時は衝立を使用し、年長クラスがプール活動で水着に替える時は男女の時間や場所を分けるなど配慮している。写真掲載に関する個人情報の取扱いは承諾書を受け取り対応している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法： 園児の年齢に合わせたプライベートゾーンについての性教育の導入に期待したい。また、男性保</p>		

育士の保育支援を過度に配慮するのではなく、専門職としての関わり方を検討されたい。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園ホームページに理念や保育目標を記載し、町広報誌でも活動内容を掲載し誰でも閲覧できる。乳児検診やママサロンの場所へ職員が広報に行くこともある。毎年、園児募集要項に併せて、園の理念や方針、活動をわかりやすい文や写真、図にした冊子を渡している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園説明会で入園の準備案内と重要事項説明書を配布し丁寧に説明している。就労状況による保育時間の変更は、「園だより」で案内し、手続き等について漏れがないように保護者に周知している。外国籍の保護者には多言語対応の電子アプリ機能を活用し対応している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>転園等の手続きは、転園先と所定の文書を交わし、支援の継続に努めている。卒園アルバムは卒園式の写真を載せるため卒園後の6月に園で渡している。その時に小学校での様子が聞ける機会となっている。保護者には転園後や卒園後も何でも困ったことがあれば相談できることを伝えている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
<p>転園後や卒園後は関係が疎遠になりがちであり、相談対応についての文書を配布することで保護者の安心につなげられたい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年度末に保護者対象の保育運営に関するアンケートを実施し、園への評価と自由意見を次年度の園運営や保育の質の向上に反映させている。行事後のアンケートや送迎時の意見等はリーダー会議や職員会議で話し合い、園全体で検討と改善に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		

34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 重要事項説明書に記載し、入園時や進級時に苦情解決の仕組みを配信と配布で周知に努めている。園内にも掲示し、玄関先には意見箱の設置もしているが、園長や副園長を始め職員が保護者とのコミュニケーションを大切にしており、直接意見を伝える保護者が多い。</p>		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 保護者からの相談や意見は、送迎時や保護者面談、連絡帳、電話、メールなど多様な媒体を活用し対応している。どの職員も相談に応じ、園長へ引継ぎ、時間を取って対応が必要な時は、プライバシーに配慮した部屋でゆっくり安心して相談できる環境を整備している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>良い点／工夫されている点： 保護者からの相談や意見を待つのではなく、降園時には保護者へひと声掛けることを職員間で実践し、子どもの様子や園内で気になることを一人で抱え込まない職場環境に配慮し、職員会議で共有し対応に努めている。専門的な相談の場合は第三者の同席を提案したり、内容によっては園で「出来る事、出来ない事」を丁寧に説明し、保護者と真摯に向き合っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 危機管理マニュアルを整備し、非常災害対策計画を作成し全職員に周知している。毎朝、園内と園庭の危険な物や糞の有無の確認と遊具の不具合等を点検し、安全な環境確保に努めている。ヒヤリハット事例を記録し、分析と改善で再発防止を全職員で共有しリスクマネジメントの意識強化を図っている。定期的な設備点検の実施、毎月の避難訓練、職員の救命講習の実施などに取組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点： 感染症マニュアルを整備し、予防策や発生時の安全確保に取組んでいる。感染症が発生した時にはメールで情報を配信し、「保健だより」で感染症の詳細と防止策を伝えている。コロナ感染対策</p>		

では定期的な換気や、子どもが触れる場所やドアノブ、手すりなどの消毒を小まめに行い、手洗いの徹底に取り組んでいる。ノロウイルス処理キットは各教室に備えてあり、職員は使用方法を熟知している。

改善できる点／改善方法：

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
----	--	---

良い点／工夫されている点：

災害対応マニュアルを整備し、職員に周知徹底を図っている。毎月避難訓練を実施し、子どもの引き渡し訓練や職員による消火器の取扱い訓練も行っている。玄関に避難経路図を貼り出し、各教室に子ども用防災頭巾を用意してある。園に備えてある災害備蓄品は定期的に町担当者が点検管理をしており、地域の避難所にもなっている。災害時には ICT を活用し一斉メールで保護者との連絡を確実にしている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
--	---------

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：

保育の基本的な実施方法のマニュアルを整備し、「保育従事者の心得」と称して、接遇全般、守秘義務、意見・要望・苦情の対応、子どもの安全を守るためのポイント、保育環境整備などを文書化し、入職時と定期的に研修を行い職員へ周知し標準化を図っている。特に子どもの意見及び人格を尊重して子どもの立場に立つ姿勢を基本に教育・保育を提供している。

改善できる点／改善方法：

41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
----	---	---

良い点／工夫されている点：

標準的な実施方法が、園がめざす「子どもの意見及び人格を尊重して子どもの立場に立つ姿勢で教育・保育の提供」の実践につながっているか、子どもの発達や保護者の状況に合わせて検証し見直している。職員により実施方法に差異がないよう保育方針や指導計画を振り返り、保育の標準化を図っている。

改善できる点／改善方法：

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
----	--------------------------------------	---

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園時の児童票や家庭調査票と、入園後の面談で子どもの心身の状態や保護者の要望等を把握し、個別指導計画を作成している。送迎時の会話で得た内容もアセスメントに活かし、支援を要する子どもには関係機関との連携を図り指導計画を作成し配慮ある支援を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>チーム担当制を導入しており複数の職員で子どもの状態を話し合い、指導計画に沿った保育の実践が出来ているか評価・見直しを行っている。その時期や手順を決めPDCAサイクルで行い、変更内容は職員間で周知し次の保育実践につなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ICTを活用し、子ども一人ひとりの発達や生活状況や園での活動等を記録している。記録はクラウド管理の職員専用BOXに収納し、職員がいつでも園のパソコン及びタブレットで確認でき情報の共有化が図られている。職員にはノンコンタクトタイムを設け、記録等の業務に集中して取組める環境が整っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個人情報管理マニュアルを整備し、毎年4月に新任職員を交え、個人情報保護や守秘義務の研修を実施し、全職員に周知している。ICTを活用時にはパスワード入力が必要になっており記録の管理体制が確立している。個人情報の園外持出禁止の徹底や情報を漏洩させないよう常に意識して取組んでいる。保護者にも個人情報の取扱いについて説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅳ 保育内容

Ⅳ-1 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>全体的な計画は、理念や方針を基に園の特性と家庭や地域の実態に合わせ、子どもの発達過程を踏まえ、「育てていきたい力」を職員間で共有し、作成している。年齢別保育方針は子どもの</p>	

心身の発達過程に沿って長期的見通しを持って全体的な計画を作成している。
改善できる点／改善方法：

IV-2 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園庭は広く日当たりも良く、子どもが思いのまま走り回ることが出来、遊具も適切な配置で安全に配慮している。園庭の一部を活用した畑で野菜を育て四季を感じ、給食の食材にもなっている。室内は清潔で室温調整や換気で健康に配慮した環境が整っている。絵本コーナーがあり、様々な絵本を豊富に取り揃え、座りやすい椅子の設置で子どもがくつろげる空間になっている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>余裕ある職員配置で職員に時間的余裕と個々にゆとりを持つことができ、どの職員も一人ひとりの子どもに目を向けてその子の成長に合わせ、自分らしさが発揮できる保育を実践している。全職員で関わり方に差異のない保育に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>身の回りの整理整頓、排泄、衣類の着脱、食事など年齢や発達に応じて、子どもが自主的に生活習慣を身に付けられるよう絵やテープなどを使い理解しやすい工夫をし、見守りや意欲につながる声掛けなどしている。トイレ利用時に上靴を揃えスリッパに履き替えるなど社会的マナーも教えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもが自ら遊びを選び、友だちとの関わりを深めながら遊びの創造が膨らむ環境を作っている。身近に四季の自然物を遊びの材料に取り入れたり、絵本を通して本の楽しさや想像する力につなげ、子ども同士や職員の見守りと声掛けで社会性やルールを学び、子どもの主体性を育てる保育を展開している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮	非該当

している。	
良い点／工夫されている点： 非該当	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 職員は子どもが安心して過ごせるよう抱っこや手を取り合いながらスキンシップを図り、自分でやりたいという子どもの自主性を受け止め接している。発達に応じた遊びを通して発見や楽しさ、集団の中でのルールが身に付く保育を実践している。保護者とは個々の連絡帳を通じて子どもの一日の様子を報告し、送迎時のコミュニケーションに努め、子どもの成長を共有している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 年齢ごとの保育指針を基に、子どもの興味や関心を持ったことを深めていける保育に取り組んでいる。常に職員は「子どもにとってどうか」の目線と、子どもの「やりたい」が実現できるように配慮し、子ども同士で考え発展させ、社会ルールを学ぶ環境を整備している。集団の中での子どもの様子をドキュメンテーションで保護者に配信し、参観や運動会、発表会の機会に子どもの成長した姿を保護者と共有している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 職員は、支援の必要な子どもの特性を十分に理解し、個々に合わせた適切な支援に配慮した指導計画に沿って実践している。保護者と定期的に面談し連携を密にし、必要に応じて行政の療育施設や発達支援事業所との連携で子どもの安心できる場所の確保や専門機関からの助言を得て環境を整備している。職員間で個々の支援方法を共有している。	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
良い点／工夫されている点： 早朝、延長保育では、異年齢児が同じ空間でゆったりと過ごせるよう、玩具の種類や量に配慮し、家庭的な雰囲気のある環境を整えて保育を行っている。早朝、延長保育専属の職員もおり、適切な引継ぎで情報共有に努めている。どの職員もすべての子どもを名前呼び、長時間保育でも子どもが安心して穏やかに過ごすことのできる保育を実践している。	

改善できる点／改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員が小学校へ見学に行き、個々の子どもの特性に沿って就学を見通した77°ローカリズムを作成している。年長クラスは小学校近くまで歩いて行ったり、学校行事の見学や参加し、就学への期待感につなげている。保育士と小学校教諭で就学に向けた情報交換を行い、保育に活かしている。年長クラスの保護者には適宜、就学に関する情報を発信し安心につなげている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>登園時の挨拶時には、必ず子ども一人ひとりの様子を視診し、保護者からの連絡や連絡帳内容から子どもの健康管理に努め、その情報は職員間で共有している。地域や園内で流行性の感染症が発生した時は、速やかに保護者にメールおよび保健だよりで注意喚起を促し、園内の感染拡大防止対策を徹底させている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>近年、子どもの睡眠時間が少ないという統計がある。保護者へ協力を促し、家庭での生活実態を把握し、園と家庭と連携し健やかに子どもが育つ環境への取組に期待したい。</p>	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月の発育測定と、年2回園医による健康診断と歯科検診を実施している。診断結果は文書で保護者に報告し、各担当職員もその結果内容を把握し保育に当たっている。当日欠席した子どもは個別に受診するよう促し、治療が必要な子どもについてはその後の受診状況を確認している。受診結果は園での運動面や歯磨き指導に反映させ、家庭での生活改善につながる情報も提供している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アレルギー疾患のある子どもに対して、保護者、栄養士、担当職員が医師の診断書を基に面談をし、献立表と除去食リストの確認を行っている。除去食を提供する時は、トレーの色を変え該当するアレルギー食のプレートを置き配膳作業をするなど細心の注意を払い対応している。除去食の必要がなくなった時には再度診断書を基に面談し、申請書提出で安全を確認している。アレルギー対応ガイドラインの整備やエピペンの用意があり、職員研修を実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4-(1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>給食は業者に委託している。毎月委託先の栄養士を含めた給食委員会を開催し、献立の改善や量の確認、行事食や季節感ある給食内容等を話し合い、子どもが食に関心もてる工夫をしている。園庭の畑で収穫した野菜を園児と一緒に収穫し食べる楽しみにつなげ、おやつは、手作りや業務用機械を使いその工程を見せる日も設けている。その日の給食をサンプルとして玄関に置き、保護者が知る事ができる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>子どもにもその日の献立内容を絵や写真等で掲示するなどして、給食が楽しみとなる工夫が欲しい。</p>	
IV-4-(2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員が事前検食で、量や味付け、異物の混入を確認している。職員は子どもと一緒に食べ、食事状況の把握と雰囲気づくりを心掛けている。食事中に栄養士や調理員がクラスを巡回し、食事の様子を確認し今後の献立に反映させている。稲を育て米の収穫や、味噌作りなどの食文化を知る取組みもしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子育て支援

V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1-(1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日々の保育の様子はICTを活用したドキュメンテーションや月末に写真とコメントで個々の様子を保護者に配信している。また、クラス便りの配信や送迎時にコミュニケーションを取りながら保護者との連携を図っている。未満児は毎日の連絡帳で体調や家庭での様子と園での様子を双方で記載し、連携を密にして信頼関係を築き、子どもの成長を共有している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2-(1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>登降園時の挨拶と声掛けを大切にし、降園時は保護者とコミュニケーションを図り、保護者の</p>	

<p>様子が気になる時は声掛けし、必要に応じて園長や副園長、主任が対応し、行政、関係機関につなげている。保護者が感情的な時は、職員のメンタルにも配慮し、園長が適切に対応し保護者との関係づくりに努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>虐待対応マニュアルを整備し、毎年、権利擁護や虐待防止の研修会を実施し、職員の意識統一を図っている。日頃から子どもの表情や発する言葉に耳を傾け、着替えの際には体を視診し虐待を見逃さないよう努めている。保護者の態度にも注視し、気になることは職員間で情報を共有し、早期発見と早期対応に努め、行政や関係機関と連携を図り虐待防止に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>職員は専門職として子どもの人権についての研修会の機会はあるが、保護者にはその機会が少ない。保護者支援の一環として、保護者も子どもの人権についての研修に参加できるプログラムを設け、職員と一緒に学ぶ機会の取組みに期待したい。</p>	

評価対象VI 保育の質の向上

VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	第三者評価結果
<p>VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士は自らの実践を振り返り、自己評価と併せて年次でも評価を行っている。定期的に保育専門の外部講師を招き、公開保育という形で職員全体で子どもの姿を読み取り、声掛けや環境設定等が適切に行われているか意見を出し合い専門性を深めている。各保育士の自己評価を基に、園全体の改善点を明らかにし保育の質の向上に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

VII-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
<p>VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園門にフック式とダイヤル式の施錠で、外部からの侵入防止対策をしている。園敷地内に4か所の防犯カメラを設置し、事務室内モニターから外部の様子が分かり、侵入者を発見した時には速やかに館内放送で呼びかけることができる。定期的にサスマタを使った外部侵入の避難訓練を実施している。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅶー２ 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶー２ー（１） 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ICTを活用し、年度始めに年間行事予定が分かるようにし、保護者参加の行事は再度事前に詳細に知らせ、降園時にも参加を促している。参加できない保護者には後日子どもの様子を知らせている。子どもと共に参加できる保育内容を企画し、親子で楽しく参加できる機会を設けている。サッカー教室は自由参観できる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>働く保護者のために一定期間を設けた保育参観の開催を検討し、より多くの保護者が保育参加に出席できる環境に期待したい。</p>	
Ⅶー２ー（２） 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者役員会を設け、園と意見交換し連携を図っている。保護者からの講師紹介で絵手紙や書道教室を開催したり、田植えと稲刈り体験企画には園と保護者会が連携し、子どもと保護者が楽しめる活動につなげている。毎年、卒園式後は年長児保護者が中心となってお楽しみ会を企画し、園で出来る事を協力している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>保護者会役員が年長児保護者のみで構成されているが、保護者の希望や課題など子どもの年齢によるニーズもあると思われる。保護者会とより良い園の運営への連携のためにも年齢別役員の構成に期待したい。</p> <p>（訪問調査後、直ちに保護者会の在り方を検討し、これまでの保護者会の刷新を図る予定。評価をbからaとした。）</p>	

Ⅶー３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶー３ー（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	a
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園児のほとんどが校区内の小学校に入学しており、小学校と連携を密にとり、双方の職員が子どもの環境を見学する機会を設け子どもの実態状況を話し合い、特に支援の必要な子どもの具体的な支援方法を相談し、子どもや保護者の不安軽減に努めている。園長が小学校連絡協議会のメンバーであり、地域の保育園や幼稚園等の情報の共有と、就学後の子どもの様子を観たり意見を交わすなど、円滑な連携を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	